

ならしの 習志野教育だより

発行・編集 習志野市教育委員会 ☎ 047-451-1151 (代表)

Narashino Municipal Board of Education

小学校陸上記録会

～自己記録の更新を目指して～

会場:実花小学校



会場:香澄小学校



会場:谷津南小学校



Contents

5月13日(火)に小学校陸上記録会が実花小学校・香澄小学校・谷津南小学校の3会場で行われ、各小学校の6年生が参加しました。天候にも恵まれ、児童一人ひとりが各種目(100m走、60mハードル走、4×100mリレー、走り高跳び、走り幅跳び、1230m走)で練習の成果を発揮しようと全力を尽くす姿が見られました。どの会場でも、競技に参加する全児童へ向けて応援する声が響き、盛り上がりを見せました。

(文責:教育総務課 河野)

・小学校陸上記録会	P1
・体育祭・運動会(第二中、屋敷小、藤崎小)	P2
・安全に関する取り組み (安全主任等地区別協議会、通学路安全対策協議会等)	P3
・特連歓迎スポーツ大会、 習志野市小・中管楽器講座	P4
・歩け歩け大会、少年野球春季大会、 ソフトボール小学女子習志野大会、市民カレッジ	P5
・小・中学校初任者教員研修 GIGAスクール推進プロジェクト、フレンドあいあい	P6
・習志野っ子の活躍(表敬訪問)	P7
・保護者負担軽減への取り組み、春の叙勲受章 習志野高校ニュース、教育長コラム	P8

第 146 号
2025年7月

テーマ

「令和7年度の教育活動」(体育祭・運動会特集)

【習志野市ホームページ】 習志野教育だよりはこちらからもご覧いただけます



体育祭・運動会～優勝目指して！～

第二中学校 (5/17)

スローガン「 全身全霊 心を燃やせ！～己の全力を見せつけろ！ 」



今年の体育祭は例年とは違い、仕事の量が増え大変に感じることも多々ありました。しかし、実行委員の仲間の助けもあり、やり切ることができました。また、全校の前で話す機会も増え自分にとって最高の経験を得ることができ、人として大きく成長することができました。

(実行委員長：三浦 康太さん)



初めて体育祭練習をした時は、大勢の生徒の前で話をしたり、まとめたりと大変で不安がありました。しかし、練習を重ねるごとに自信がついてきて、堂々と行動ができるようになりました。体育祭が終わった後のみんなの笑顔は今でも忘れられません。

屋敷小学校 (5/24)

スローガン「 羽ばたけ～心を一つに全力で～ 」



私は応援団長に決まった時、白組にエールを送ることができるようにがんばろうと思いました。練習中よりよい応援をするために、腕の動かし方を良くするにはどうすればよいかみんなで話し合いをしました。私はこの時、みんなと協力する力を学びました。運動会当日は少し緊張しましたが、集中して、楽しんで応援することができました。中学生になっても応援団になりたいと思いました。

(白組応援団長：泉 桃華さん)



練習の時、みんな少し声が小さかったけれど、本番ではしっかりと声を出せていて、自分もすごく楽しみながら全力で応援でき、小学校最後の運動会をととても良い気持ちで終わることができました。紅組は優勝できましたが、自分が一番ほしかった応援賞はとることができませんでした。とても悔しかったけれど、みんなが喜んでくれたり、拍手をしたりしてくれたので嬉しかったです。応援団長をやって本当によかったです。

(紅組応援団長：小池 惺南さん)



藤崎小学校 (5/24)

スローガン「 ふじっこの力で勝利の道へ 」



僕は応援団長という責任がある係をしました。最初は白組応援団のみんなを引っ張れるか心配でしたが、みんなと一緒に練習をしていくたびに、心配もなくなっていきました。運動会当日は、白組が総合優勝しました。紅組も精一杯声を出して応援していて、お互いに「やり切った。」と思いました。小学校生活最後の運動会で、応援団長に立候補して本当によかったです。

(白組応援団長：加賀田 陸さん)



私は運動会の中で1番目立つ応援団長という立場になり、最初は大きな声を出せるかとても心配でした。練習を重ねていくにつれ、声が枯れてしまい、副団長に頼んだときもありましたが、本番では大きな声で紅組みんなを引っ張ることができて、とても嬉しかったです。小学校生活最後の運動会で、応援団長として全力で取り組むことができて良かったです。

(紅組応援団長：佐々木 優衣さん)

安全に関する取り組み

～児童生徒の安全・安心のために～ (文責 保健体育安全課:紫芝)

〈交通安全教室〉

令和7年度は、第四中学校と第五中学校で「スケアード・ストレイト教育技法」による交通安全教室を行いました。この取り組みは、3年間で中学校7校が1回ずつ実施できるように計画を立てています。他の小・中学校では、交通安全教室を実施しています。

「スケアード・ストレイト教育技法」とはスタントマンによる事故再現によって、事故の恐怖と痛みを目の当たりにすることで交通安全意識のさらなる醸成を図り、体験を通じて交通ルール遵守や正しい交通マナーを実践するための啓発効果を高める教育技法です。



↑第五中学校
交通安全教室の様子

〈避難訓練について〉

令和7年度の避難訓練は、専門機関（消防署員・防災コミュニティネットワーク(通称:BCN)）に訪問いただき、すべての小・中学校で令和6年度のフィードバックを活かした訓練を実施します。

〈通学路合同点検について〉

今年度も5月に合同点検を行い、学校管理職とPTAの協力により交通面と防犯面で対策が必要な場所を点検しました。警察や道路管理課、防犯安全課、青少年センターで必要な対策をしてまいります。また、「自分の命は自分で守る」ための安全教育を今年度も推進していきます。



安全主任等地区別協議会

4月24日(木)に安全主任等地区別協議会がオンラインで開催されました。千葉県警察本部交通部交通総務課から「交通安全指導のポイント」を講義していただきました。令和6年度学校安全教育推進委員として、船橋市立市場小学校と船橋市立旭中学校2校の実践発表がありました。また、葛南教育事務所からは、令和6年度合同訪問を受けて、学校安全指導のポイントとして、転落防止処置、ゴール等の固定、樹木の管理、避難経路図の掲示、下駄箱棚等の固定について、助言がありました。

通学路安全対策協議会

今年度も教育委員会が事務局となり、習志野警察署交通課、生活安全課、習志野市役所道路管理課、防犯安全課、各学校教頭、青少年センターを委員とした通学路安全対策協議会を開催しました。1回目は委員の委嘱状交付の後、通学路点検の仕方や安全指導について確認を行いました。2回目は各学区の通学路合同点検、3回目に点検結果と対策の進捗について報告を行います。



青少年補導委員委嘱状交付式

今年度は、新たに52名の方に委嘱状を交付しました。補導委員を委嘱した皆様には、午後と夜間に、各学区を巡回しながら、児童生徒に声かけをしていただきます。パトロール等で話しかけていただく「愛のひと声」は、時に立ち直りのきっかけともなります。これから出会う子どもたち一人ひとりを温かく包んでいただくことをお願いしてまいります。



特連歓迎スポーツ大会

小学校19名、中学校17名の新入生を迎えました！

5月8日(木)に習志野市特別支援教育研究連盟主催の歓迎スポーツ大会が第四中学校で開催されました。市内の知的学級の児童生徒が一堂に集まりました。小学生はTスロー、中学生はボッチャにチャレンジしました。児童生徒が保護者や教職員の大きな声援を受けて、一生懸命競技する姿や勝負がついた後も笑顔で検討を称え合う姿が見られ、感動的でした。また、試合後には、学校の垣根を越えて交流するととても温かな雰囲気が印象に残りました。今後行われる、特連セカンドスクールやお別れスポーツ大会につながる素敵な大会となりました。(文責:指導課 奥山)

小学生 Tスローの様子↓



中学生 ボッチャの様子↑



会場の様子→



習志野市小・中管楽器講座

4月26日(土)に東習志野小学校にて第22期習志野市小学校管楽器講座、習志野高等学校にて第7期習志野市中学校管楽器講座開講式がそれぞれ開催されました。

この講座は、習志野市管楽器教育研究会が主催し、習志野高校吹奏楽部の部員が市内小中学校の児童生徒に直接指導を行っています。楽器技術の向上だけでなく、他校の仲間との交流を通じて多くの刺激を受ける貴重な機会となっています。今年度は小学生が約180名、中学生が約110名がそれぞれ受講し、月1回のペースで講座が実施される予定です。その成果を3月に開催する「ならしの学校音楽祭」で披露します。(文責:指導課 西林)



歩け歩け大会

6月1日(日)に第44回オール習志野歩け歩け大会を開催しました。当日は、2歳から91歳まで総勢146名が参加し、4kmのくじらコースと8kmの花ショウブコースを爽快な汗をかきながら歩きました。大会後には、「本当に楽しかった!」と話す方を多く見かけました。今回、最高齢の91歳の方も「こんな素晴らしい日はない」など笑顔でお話しくださり、この大会の充実感が表れていました。大会を運営するにあたり御協力いただきました習志野市スポーツ推進委員の皆様にご感謝申し上げます。
(文責:生涯スポーツ課 宮川)



第50回少年野球春季大会

5月3日(土)に第50回習志野市少年野球春季大会が開催されました。12チーム182名が参加し熱戦を繰り広げました。雨天延期が続く中、集中力を最後まで切らさず決勝に進出を決めたのは、習志野フェニックスと向山ファイターズ。疲労も感じさせず、向山ファイターズが見事、優勝を果たしました。(文責:生涯スポーツ課 宮川)

優勝:向山ファイターズ
準優勝:習志野フェニックス
第3位:谷津ザナミ
第4位:習志野ベイトリムス

優勝チーム 向山ファイターズ 主将
島野朝陽(しまの あさひ)さん 優勝コメント
「チーム全員で勝ち取った優勝なので、県大会も頑張ります!」



優勝:向山ファイターズ



準優勝:習志野フェニックス

第28回ソフトボール小学女子習志野大会

5月11日(日)に第28回ソフトボール小学女子大会が開催されました。他市から3チーム、習志野市からは「習志野スーパーガールズ(市内4チーム合同)」が参加し、大会はこの4チームによるリーグ戦で行われました。スーパーガールズは幸先よく2勝し、最終戦は、四街道レッドキャンディーズと2勝同士の対戦となりました。初回先制するも逆転され、また再度逆転するなど好ゲームを展開しました。最後は惜しくもサヨナラ負けとなりましたが、各地域を代表するチームを相手に、準優勝を果たしました。

(文責:生涯スポーツ課 宮川)



習志野スーパーガールズ キャプテン 高村 虹湖(たかむら にこ)さん
「勝てる試合だったのに負けてしまい悔しいです。やっぱり優勝したかった。チームワークも良くなってきたので1人ひとりもっと成長して関東大会に挑みたいです。」

市民カレッジ開講式

5月22日(木)に令和7年度習志野市民カレッジ開講式が消防庁舎3階で行われました。今年度は、新入生40名が入学し、32名が2年目に進級しました。

新入生代表挨拶では、「これから始まる市民カレッジでの2年間の学習をとおして、習志野についての理解を深めるとともに、わがまち習志野への愛情を育てていきたい」との抱負が述べられました。この日は早速、新入生の1コマ目の講義があり、終了する頃には会場は和やかな空気に包まれました。
(文責:社会教育課 峯島)



小・中学校初任者教員研修

4月30日（水）に習志野市庁舎にて、小・中学校初任者教員研修を開催しました。当日は、昨年度に引き続き、宮本泰介習志野市長をお招きし、「習志野市と今後の心構え」について御講話いただきました。習志野市の歴史や特徴、教育に関するお話だけでなく、標準を守るといった、社会人として意識すべきことなども教えていただきました。

講話の後には初任者54名を代表して、谷津小学校三田先生が謝辞と今後の決意を述べました。

（文責：総合教育センター 野口）



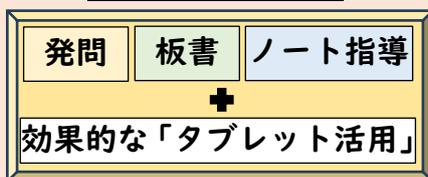
GIGAスクール推進プロジェクト

令和7年度の活用目標は

「思考し、創造し、発信する学びの道具」

としてのタブレット活用 ～今までの教育実践と ICT の融合～

今までの教育実践



さらなる ICT 活用の促進

- ◆ デジタル教科書や AI 型デジタルドリルの活用
- ◆ 各教科の特性や学習過程を踏まえた活用
- ◆ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両立



今年度導入する授業支援システム『SKYMENU cloud』は ICT を活用した授業のプラットフォームになります。

- ・タブレット端末で意見を集約や学級全体での比較整理から児童生徒の新たな気付きや深い学びを実現。
 - ・グループでの話し合いなどで個人が役割を分担することで、主体的に課題に向かう姿勢を育成。
- 児童生徒の自己解決能力・情報活用能力の向上のために ICT の積極的な活用を目指します。

（文責：総合教育センター肥田）

習志野市総合教育センター ～フレンドあいあい～

「フレンドあいあい」とは

いろいろな理由で学校に行くことができない子どもたちのために作られた習志野市の適応指導教室です。

どんな活動をしているの??

各自が持ってきた課題に取り組む学習時間や体育活動（週1回 東部体育館）、書道教室（月1回）、タブレット学習（月1回）、英語活動（学期に1～2回）、鹿野山自然体験教室（1泊2日）を行っています。学習時間以外は、グループワークを行ったり、読書やパズルなど、好きなことに取り組む時間もあります。

どこに

設置されているの??

東習志野小学校に隣接する東習志野こども園の敷地内に併設された「こどもセンター」の2階にあります。室内には、学習室、プレイルーム&キッチン、和室、室外には広いバルコニーがあります。

どうやって利用するの??

直接「フレンドあいあい」（047-471-1236）に電話をします。面談・見学・体験をした後、入級となります。
※電話が繋がらないときは、（047-475-8341）へ



教室はこの建物の2階
（1階はこどもセンター）



文責：
総合教育センター 中台

キラリ☆と輝く 習志野っ子の活躍

もちづき あみ
望月 杏実さん (第四中)

千アリーディング世界チャンピオン!

4月23日(水)～25日(金)にアメリカのフロリダで行われた「2025ジュニアワールドチアリーディングチャンピオンシップ」にて、Junior pom部門で第四中学校 望月 杏実さんが参加するチーム「★SHINING★PLANET★/★GRANT★SPARKLE★」が第1位を獲得しました。また、4月25日(金)～28日(月)にアメリカのフロリダで行われた「THE DANCE WORLDS」にて、Senior Large Pom 部門でも第1位を獲得しました。世界大会優勝おめでとうございます。(文責:指導課 辻本)



さとう れい
佐藤 励選手 (鷺沼小・第三中卒) オールスター・オートレース優勝!

前回覇者1名とファン投票上位7名の選手が出場する大会 SG 第44回オールスター・オートレースにて見事優勝を飾りました。6連勝完全Vは史上2人目、初優出6連勝完全Vは史上初の快挙となりました。



おめでとうございます。(文責:教育総務課 河野)

～佐藤選手にインタビュー～

Q:表敬訪問した率直なお気持ちはいかがですか?

A:ずっと習志野で育ってきて、習志野に恩返しができたと感じています。

Q:次の目標はなんですか?

A:年に5個のSGがあるのですが、そのうちの1個を取ったので、あと4個を取りに行くことです。

Q:習志野で夢をもつ子供たちに一言お願いします。

A:自分に才能がないと思わず、自分にあきらめず、「これになりたい!」「これになってほしい!」と強く思うのが夢を叶える秘訣だと思います。とにかく努力です。

こじょう
小城 みなみ選手 (鷺沼小・第五中卒)
空手世界チャンピオン!

令和7年4月27日(日)、2025第7回全世界体重別空手道選手権大会が開催されました。小城選手は、第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 女子中量級にて優勝。本大会への出場権を得ました。各国・各地域から選抜された各階級のトップ選手が出場する中、初出場で初優勝を果たしました。世界大会優勝おめでとうございます。(文責:教育総務課 河野)



にしむらみう 西村美海さん (市内在住) いいたかりり 飯高稟理さん (津田沼小) やくちちはる 矢口千春さん (第一中)

HipHopダンス世界大会出場!

令和7年3月16日(日)に板橋区で開催されたHIP HOP DANCEの日本大会において飯高さんがジュニア部門で優勝。矢口さん、西村さんがバーシティ部門で優勝。飯高さん、矢口さん、西村さんがJVメガクルー部門で優勝。3名は7月末から8月上旬にアリゾナ州で開催される世界大会(2025WORLD HIP HOP DANCE CHAMPIONSHIP)に日本代表チームとして出場することが決定しています。日本大会優勝・世界大会出場おめでとうございます。(文責:教育総務課 河野)



春の叙勲受章

瑞宝双光章
元第六中学校長 浅田 和子 様

浅田様は習志野市・松戸市で公立中学校国語科担当として学習指導に努め、習志野市教育委員会・千葉県教育委員会でも御活躍されました。その後、香澄小学校・第六中学校に校長として着任され、道徳教育の推進や教育相談活動の充実などに御尽力なされました。この間に千葉県中学校長会理事を歴任するなど、千葉県教育の発展にも寄与され、この度受章されました。誠にありがとうございます。（文責：教育総務課 河野）

～習志野高校ニュース～

雑草の如く遅しく

習志野高校では「確かな歩み」を一步前に進めるために様々な取組を行っております。部活動での指導を生かし、市内や地域の児童・生徒達を対象に「部活動での講習会」を定期的に開催しています。サッカー、体操競技、剣道、柔道、ソフトボール、吹奏楽等の様々な部活動で交流を深めています。高校生から小中学生へスポーツや芸術の素晴らしさや学びを伝える事で共に成長する姿を今後も期待しています。また、各部活動は、生徒達のそれぞれの目標に向かい練習に取り組んでいます。関東大会予選では、多くの部活動が関東大会に出場することができました。

〈令和7年度関東大会成績〉

硬式野球部：ベスト8

ボクシング部：

片岡叶夢（3年）バンタム級 優勝・技能賞

穴倉紗季（3年）女子ライトフライ級 準優勝

柔道部：団体戦 ベスト32

体操競技部（男子）：団体10位

体操競技部（女子）：団体8位

男子バレーボール部：ベスト16

女子バレーボール部：出場

サッカー部：優勝（31大会ぶり）

空手道部：土井みちる（3年）出場

女子バスケットボール部：出場

カヌー部（特設部）：出場



2025.5.26 第68回関東高等学校サッカー大会【優勝】
習志野高等学校サッカー部



～インターハイ速報～ 出場部決定！

柔道部・体操部

ボクシング部・男子バスケットボール部

～好きです ふるさと習志野～

教育長コラム

日頃は物静かで覇気が感じられない、悩んでいるようにさえ見える息子が、登校時に母親へ一言、「俺、今、楽しいかも…」すると母親は黙って頷く。次は学校の場面、eスポーツクラブでの活動、大会に参加し仲間と熱中している姿…あるCMの一コマです。母親のホッとした表情、生き生きと取り組む生徒の様子を見て「良かったね」と感じてしまうのは私だけでしょうか。全国における令和5年度の不登校児童生徒数は34万人を超え、小学校では60人に1人、中学校では17人に1人という数値が出ています。本市においても同様の傾向があり、不登校対策は喫緊の課題でもあります。不登校の要因については、個々様々な事情がありますが、解決のためには今まで以上に、学校を「行きたい」「行く意味のある」場所にするとともに、一人ひとりの児童生徒の状況に対応できる場所を作る必要があります。学校や対応できる場所が「安心できる」「楽しい」ことも条件の一つになります。

さて、本市においても不登校対策の一つでもある、学びの多様化学校、袖ヶ浦西小学校分教室を4月に開室することができました。先日、この分教室の運動会としてニュースポーツ大会を開催し、競技としてモルックを実施しました。モルックはフィンランド発祥のスポーツ（木の棒を投げてピンを倒し得点を競うゲーム）で、本市のスポーツ指導員の皆さんが普及に力を入れ、当日も直接ご指導していただきました。児童のみならず、先生方を含む全ての参加者が夢中になり、笑顔が溢れるすばらしい運動会になりました。「明日も学校に行きたい」…そんな取組みを各学校とともに進めてまいります。（教育長 小熊 隆）